



新しい生活様式を取り入れた「子ども会活動」

一般社団法人新潟県子ども会育成連合会 会長 須田 貴子

日頃より子ども会活動にご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、今年度は感染症の影響で活動の中止や延期、一部の単位子ども会からは安全共済会の加入見合わせなどの報告がありました。感染が拡大する中で、今年初めて役員になられた皆様方におかれましては、大変ご苦労されていることと推察致します。

また、国内では連日、感染症の報告があり、今までのような日常生活を送るため「新しい生活様式」の実践が求められています。県子連としても今後は活動の中にも「新しい生活様式」等を取り入れた対応を検討しながら活動を計画していきたいと考えております。



つきましては、活動を計画する上での参考資料として、『みんなで守ろう！新しい生活様式を取り入れた「子ども会活動」のチラシ等を作成致しました。

計画する活動も、この中に当てはまらない活動もあるかと思いますが、子ども会が推奨する「K（キケン）（Y（予知））T（トレーニンング）」をこの機会に学んでいただき、活動を行う際は「K（キケン）を（Y（予知・予見しながら））活動・行動」し、安全安心な子ども会活動に取り組んでいただきたら幸いです。なお、各地域でのご実情もおありかと存じますので、無理をせず、それぞれの子ども会での判断で対応いただければと存じます。今後子どもたちの笑顔作りのた

め、何卒、お力添えを宜しくお願い申し上げます。

今後の予定

- 県子連第二回理事会
十二月六日（日）
長岡市中央公民館さいわいプラザ
- 県子連第三回理事会
三月七日（日）
県立生涯学習推進センター
- 県子連第三回JL中級研修会
三月十四日（日）
長岡市中央公民館

活動に参加する時の注意

みんなで守ろう！新しい生活様式を取り入れた『子ども会活動』

あさ朝	熱をはかり、健康チェック 風邪などの症状があるときは、休みましょう。
活動時	手洗い・うがい 石けんを手を洗い終わったら、自分のハンカチやタオルで手をふきましょう。
	マスク着用 マスクをはずしたときは、おしゃべりを控えましょう。
	密集は避けて 座るときは、対面を避けて座りましょう。
活動後	食べることに集中 おしゃべりは控えめに、前を向いて食べましょう。
	換気 時々、窓やドアをあけて空気の入れ替えをしましょう。
活動後	消毒 活動場所や共有したものは消毒しましょう。 ※コップやタオルは同じものを使わないよう注意しましょう。

(一社) 新潟県子ども会育成連合会/令和2年10月発行



子ども会活動は、世代を越えた学びのスタイル その地域、「ならでは」の魅力的な学びの場の創出

下越教育事務所 社会教育課長 伊藤 健文

一 はじめに

昨年度、阿賀野市で開催された「子どもの遊びのひろば」に参加させていただきました。加盟団体による活動は、知的好奇心をくすぐられるものばかりでした。参加していた多くの子どもたちは、その活動に没頭していたことを覚えています。

私自身も幼少期の頃、子ども会の川遊び、夏休みのラジオ体操、廃品回収などの多くの行事に参加していました。そこには、活動の楽しさの他に、友だちや地域のおじさんやおばさんたちと過ごす心地よさがありました。中学生になると、活動を補助するスタッフ役を与えられ、少し違った意味でのワクワク感を感じていたことを覚えています。



子ども会は、体験と世代を超えた交流を提供する貴重な学びの場として存在していると考えます。

二 魅力的な学びの場の創出

それぞれの地域では、子ども会、公民館、青少年育成団体、PTA、学校等が連携を深められ、その地域



ならではの魅力ある体験活動や地域貢献活動が行われています。下越地区の市町村で実施された青少年事業を紹介いたします。

- ・ 地域資源（お茶）の学びと地場産業の普及啓発を図る「ティーグランプリ」（村上市）
- ・ 自分の「やりたい」を実現する中で地域への愛着心を育む「何もしない合宿」（関川村）
- ・ 子どもたちの休日活動の充実と世代間交流を図る「お年寄りと子どものゲートボール大会（粟島浦村）
- ・ 「板額御前」の歴史を知り、地域づくりの担い手を育成する「中秋の名月・板額の宴」（胎内市）
- ・ 人と人とのつながりの中で「感動する心」「郷土愛」を育む「わく

わく桜体験隊」（新発田市）

- ・ 子どもたちに様々な体験から想像力のアップを目指す「週末体験くらぶ」（聖籠町）
- ・ 自然体験活動を通して家族の絆や家族間交流を図る「はじめての親子キャンプ」（阿賀野市）
- ・ 木のぬくもりに触れ、親子のふれあいの場を提供する「おやこ木工教室」（五泉市）
- ・ 絵本の読み聞かせや手遊びを通して子どもたちの読書力を高める「絵本ワールド」（阿賀町）
- ・ 仲間と共に目標に向かい達成する喜びを味わう「心をあわせてみんなでジャンプ」（佐渡市）

他にも、その地域ならではの活動が、様々な団体によって実施されています。



子どもたちは、活動を通して、成功体験や失敗体験を積み重ね、学びを深めていき、併せて、多

世代の交流から「コミュニケーション」を育み、人との関わり方を学んでいきます。大人にとっても、地域住民との繋がりを深める機会でもあります。

今後、子ども会が活動の中で、多くの保護者や地域住民等を巻き込むことで、当事者意識が育まれ「社会全体で子どもを育てる」という気運が高まることを期待しています。

三 結びに

昭和五十一年に県子連が設立して以来、地域社会を基盤として、子どもたちの健全育成、子育て世代の親へ支援してこられた皆様の御尽力に敬意を表します。

子ども会が活動を通して創り出す多世代の交流は、一つの地域コミュニティともいえます。これも子ども会の大切な存在意義だと考えます。

県内各地の子ども会の発展と活動を通して、地域がますます活性化することを祈念いたします。

※事例は、「これからのひとつづくりまちづくり」（下越教育事務所発行）から



ジュニア・リーダー中級研修会に参加して

長岡市 中学三年 藤井 咲杏

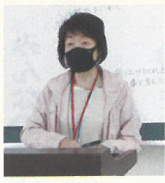


以前から、中級研修会に参加したいと思っていたのですが、台風が来たり、コロナで中

止になってしまったりと、なかなか参加出来ず、今回が初めての参加でした。

研修会では、午前と午後で2つの講義を受けましたが、そのどちらでもたくさん事を学ぶことが出来ました。

まずは午前の「子ども会活動の在り方」です。私はこの講義で、どんなリーダーが良いリーダーなのか、リーダーにふさわしいのはどんな行動なのかを学び、自分がどんなリーダーになりたいのかを再確認することが出来ました。



講義

そして、妙高青少年自然の家のおいしい昼食を食べた後、午後の



野外研修

く方法を学びました。二人組になり、力を合わせて少しずつ妙高の美しい自然の中を進んでいくのはとても楽しかったです。

今回はコロナ禍での開催ということもあり、常に一定のソーシャルディスタンスをとり、会話もあまりありませんでした。そのため、他の参加者の方ともあまり交流が無いまま終わってしまったのが少し残念でした。

コロナが終息し、私の受験が終わったら、またこの研修会に参加したいと思っています。そして、これから、もっともっと目標のジュニアリーダー像に近づいて行くことの出来るように、日々精一杯努力をしていきたいと思っています。

「妙高の自然を学ぶ」に参加しました。この講義では、方位磁石を使って地図をか

く方法を学びました。二人組になり、力を合わせて少しずつ妙高の美しい自然の中を進んでいくのはとても楽しかったです。

上越地区

子ども会夏のイベント

三ツ屋浜子ども会

六年 永原 萌々

三ツ屋浜子ども会では毎年恒例、キャンプが行なわれます。今年には新型コロナウイルスの影響でお楽しみ会が変更になり、一日みんなで遊びました。

その中で楽しかったことを二つ紹介します。

一つ目は、みんなで海に入ったことです。この日はすこく天気がよくて、みんなで楽しく遊べました。つぎに、スイカ割りをしました。なぜ



か男子のスイカは割れなくて、女子のスイカはアツサリ割れました。みんなでおいしいスイカを食べれてよかったです。

二つ目は、お昼に、わんこそうめんをしたことです。

きちんと一人一人の距離が空いていたり、私たちが食べているおわんにそうめんを入れたりしてくれました。すこく準備がされていってなんだか楽しくなってきました。最後は花火をしました。一人一人花火のセットを分けて



くれたので、みんなで楽しく花火ができました。

家に帰って今日の写真を見ていたら、花火をしていたときの写真に流れ星が写っていました。私は二、三回ぐらいしか流れ星を見たことがなかったので、すこくラッキーだなーと思いました。



新型コロナウイルスで大変なときですが、みんなと楽しく遊べたのは、子ども会のお父さんお母さんのおかげです。そしてお父さん、お母さんに感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。

佐渡地区

みんなの絆が深まった親子レク

佐渡市新穂子ども会

中三 山本 愛紗

私が住む地区では毎年、役員さんが考えたお楽しみ会があります。昨年は十一月に親子と一緒に楽しめる親子レクリエーションがあり、参加しました。

講師の方をお招きして、鬼ごっこ、フリスビー、ソフトバレーなど、みんなが簡単に楽しめるゲームをしました。各ゲーム、得点をつけて競い合いました。

中学生になるとあまりやる機会がない、鬼ごっこやフリスビーも



やってみると、みんな気合い十分で熱い戦いになりました。ソフトバレーでは、チームのひと助け合いながら

楽しむことができました。珍プレーや好プレーもあり、笑顔が絶えませんでした。

元気がいっぱいの子、中学生から、運動不足?の大人まで、全力で楽しむことができました。

また、普段はあまり関わるのではない他学年の人や、保護者のみなさんとも、たくさんお話ししたり、協力してゲームをしたりすることで、絆を深めることができました。

これから、地域の活動を通してたくさんの人と絆を深めていきたいと思えます。

この活動を通して、地域の人と絆を深めていきたいと思えます。



下越地区

楽しい夏休み

江南四丁目子ども会

六年 佐藤 輝幸

今年は、コロナウイルスで、学校が休みになったり行事が中止になったり、最後の小学校生活なのになんだかつまらない春でした。

町内の行事は夏が多いので楽しみにしてましたが、お祭りもプールも中止になってしまいました。

なので、夏もつまらないのかなと思つたら、特別にラジオ体操をしてくれました。友達に会うのが楽しみで毎日早起きしました。最後の数日は、足をケガして歩けなかったので休んでしまいました。久しぶりの行事だったからとても楽しかったです。

今年中止になりましたが、お祭りも楽しみの一つです。他の町内の人を呼んだりおみこしをするような大きなお祭りではないけれど、ぼくは大好きです。

最初に防災訓練があつて、車いすに乗る体験をしたり、アルファ米を作つて食べたりします。

そのあと、おにぎりやお団子を食べたりゲームをしたりします。

くじ引きとわなげでもらえるおかしも楽しみだけど、一番は大人と子ども合同のビンゴゲームがわくわくします。友達としゃべったり

遊んだりしていると番号が分からなくなるから集中しなきゃいけない。番号を発表している時はみんな静かで真剣です。まだ、一番目のビンゴになったことがないのでがんばりたいです。もらったプレゼントは友達と見せ合ってます。

秋になって、少しずつ行事ができるようになったけど、やっぱり全部はできません。来年は、中学生になるから参加できない行事があるかもしれないけれど、できるだけ参加して楽しい夏休みにしたいので、早く今まで通りの生活になってほしいです。

編集後記

新潟県における新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつありますが、東京都をはじめ全国では依然として一進一退を繰り返しております。県子連では、感染防止対策に万全を期しながら事業(会議や研修会等)の再開を進めております。

明るく元気に活動する子どもたちの笑顔が多く見られるといいですね。(文責:板垣)

【編集発行】

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会
〒951-1811
新潟市中央区白山浦一三〇〇
電話 〇五五-三三〇五九八
FAX 〇五五-三三〇五九二